

クチャとは

島尻層泥岩（しまじりそうでいがん）は、南西諸島に広く分布する泥岩の地層です。鮮新世から中新世にかけて中国大陸東海岸沖の海底に堆積した砂や泥の層が隆起によって地上に現れた地層であり、厚みは 1,000 メートル以上にもなります。島尻層群泥岩、または島尻粘土と呼ばれることもあります。

沖縄島や宮古島ではクチャと呼ばれ、特に南部の太平洋側に広く分布しており、上位から新里層、与那原層、豊見城層に分けられます。風化してできた土壌はジャーガルと呼ばれ、おおむね 20 - 40% の水分を含んでおり比重は 2.72 - 2.79。

大量の水を含むと軟化する性質があり、吸水と乾燥を繰り返すと崩壊す特徴があります。

沖縄島南部に広がる小さな丘と広い谷を特徴とする地形は、島尻層泥岩の地すべりが繰り返されることによって形成されたものです。

弊社が使用する原材料のクチャは沖縄本島南部のパワースポットに近い地層から採掘したものを採用しております。